

CAMD セミナー

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia)

マルチモダリティーの経時データに対する多元
計算によるアルツハイマー病超診断への試み

近畿大学 生物理工学部
システム生命科学科 教授

木村 裕一 先生

平成 27 年 10 月 5 日(月) 午後 17 時 30 分～
東棟 2 階会議室

木村先生は、東京都老人研（現：健康長寿）で、PET 画像のモデル解析など数多くの成果をあげていらっしゃいました。

最近、名古屋工業大学 本谷秀堅先生らと多元計算解剖学という、科研費新学術領域研究の一つに参加していらっしゃいます。

最近取りかかっている研究について、下記の内容でご紹介をいただきます。

- (1) 臨床アミロイドイメージングでの動態撮影の可用性の検討
- (2) 動態撮影に対する画質向上アルゴリズムの提案
- (3) 機械学習的アプローチによる多元計算の認知症への適用の可能性